

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
【知識・技能】	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会で用いられているAI等のテクノロジーが持つ機能や役割、実例などの基礎的な情報を自分の言葉で説明することができる ・簡単なプログラムを使って実際にAIを動かすことができる 	
【思考力・判断力・表現力】	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会的課題について調べ、AI等のテクノロジー活用した解決方法を提案することができる ・AIが人々、社会にとって正しく活用されるための倫理的判断をすることができる ・テクノロジーが人間個人、社会に与える影響を考察することが出来る ・上記事項について、他者に適切に提示/説明することができる 	
【学びに向かう力・人間性】	
<ul style="list-style-type: none"> ・AIや新たな技術開発、イノベーションについてより深く知ろうとし、それを用いて解決しようとする姿勢を持つことが出来る ・社会的課題に向き合う中で、AIなどに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、人間の本来の生き方について追求することができる 	
下位学習目標	

授業日	9/24(火)	2 学期授業回数	3 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】①②③ ----- 本時の具体的な目標 ・ 社会課題を具体的に考えることができる ・ 社会課題に対して AI を活用した解決策を考えることができる		
時間 授業内容	5 分	宿題に対する総括	
	20 分	学びの記録をお互いに読み合う+プレゼン資料	
	20 分	生徒代表によるグルーピング 課題の具体化 → ワークシート	
	45 分	・ ワークシート配布 「課題の具体化：社会課題編」 「課題の具体化：AI 活用編」 「課題の具体化：AI を考えるプロセス編」 ・ 「問い」の作り方の説明 → 問いとは → アイデアの探し方 ・ リファレンスリストの作り方、情報カードの作り方の説明 ・ プレゼン内容 1 グループ 8 分 + 2 分の巳波先生の質疑応用 30 秒 → <つかみ> 2 分 → <社会課題は何か> 4 分 → <それに対して AI がどう関わるか> 1.5 分 → <このように社会が変わるの]ではないか> 必ず各グループ 1 か所 フィールドスタディ/インタビュー/アンケートなどを行った学びを挿入する	
評価方法	特になし		
宿題指示	各グループにおいて、ワークシートやリサーチを開始		